

平成30年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	生涯を通じて学び合うまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部堀金地域課	課長	吉田 美千代
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	高齢者を含むすべての市民が、生きがいを持って暮らせる社会を実現するために、生涯学習の機会の拡大と充実が求められています。公民館で学んだ知識を地域づくりに活かしている市民の割合は、17.1%となっており、学んだ成果を活かして地域で活動している人が少ない現状があります。こうしたことから、学んだ成果を地域に活かす活動を積極的に支援することが求められています。また、誰もが学びやすく学習意欲が高まる環境づくりに取り組むことや、市民の高度化・多様化するニーズに対応した生涯学習の機会を提供することが必要です。
基本方針 (目指すべき方向性)	生涯学習を通じて、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
生涯学習講座参加者数	人	22,674	23,000			22,339	97.1	停滞	生涯学習課
図書館利用者数	人	212,808	228,000			233,119	102.2	順調	文化課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0110750	堀金公民館施設管理運営事業	地域担当 (堀金)	5,333,855	3,774,442	3,739,316			12,847,613	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	0.6	
2	0110755	堀金公民館事業	地域担当 (堀金)	4,718,086	4,309,458	4,629,444	4,619,000	4,619,000	22,894,988	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	1.5	
合計				10,051,941	8,083,900	8,368,760	4,619,000	4,619,000	35,742,601						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	新規に開設した講座が盛況であったことを捉え、受講者の新たなニーズの把握と長年継続している事業においては、地域住民の要望も取り入れて、見直しをする必要があると感じています。多くの地域住民から受講いただける講座内容の充実を図っていきます。
重点化事務事業の考え方	今後も地域住民が公民館講座に何を求めているのかを的確に把握することに努め、また地域を題材とした講座は需要が高いと思われるため、地域にスポットをあてた講座など、多くの地域住民の参加が得られるように質の高い講座を企画していきます。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	地区公民館と連携、協働により運動会や文化祭を開催することができました。しかし、運動会については、選手集めの苦労が各地区から聞こえてきています。地域住民が参加したくなるような魅力のある運動会にするため、種目の見直しが必要であると考えています。また芸能祭は実行委員会による運営が軌道に乗り、自主的な進行ができるようになりました。引き続き行政は見守りながら、実行委員会の自立を応援していきます。公民館の講座は社会変化に応じた多様な講座が求められています。学習の継続性を維持するため学んだことを社会に還元できる場を提供できるようにします。

平成30年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
基本施策名	方針1 協働によるまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 堀金地域課	課長	吉田 美千代
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	<p>地域が抱える課題や価値観の多様化といった社会の分化が進み、行政だけでは解決することが困難な問題が多くなってきています。これからまちづくりを進めていくには、市民と行政のパートナーシップを強めるとともに地域の情報を共有し、市民一人ひとりが主体的に市政やまちづくりに参画することが必要です。</p> <p>また、自治基本条例に規定された自治の基本理念を踏まえた上で、市民意識の向上に努め、主体的な公益活動への参画を促進することや、地域コミュニティの再構築を進めるなど、あらゆる分野において、市民と行政による協働のまちづくりを推進する体制を整えていく必要があります。</p>
基本方針 (目指すべき方向性)	協働によるまちづくりの推進と啓発に努め、地域コミュニティの再構築を進めるとともに、その活性化を図ります。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
市民活動サポートセンターにおける活動団体取材件数	件	14	100			8		停滞	地域づくり課
区への加入世帯数	世帯	28,973	29,300			29,009		順調	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0102115	堀金地域づくり事業	地域担当(堀金)	1,088,420	1,472,590	1,384,380	1,121,000	1,121,000	6,187,390	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	0.5	○
合計				1,088,420	1,472,590	1,384,380	1,121,000	1,121,000	6,187,390						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	区加入率の増進、未加入者への区情報の伝達手段等区で抱える共通課題の解決に向けて、区長会で検討を行いました。このような区長会運営支援や行政からの依頼事項等、区と市が協働し諸課題解決に向けて連携していくことは非常に重要なことです。また、主体的な社会貢献や自己実現の取り組みの実践として、秋の振興祭り催事があります。この実行委員会への補助を通しての支援は、協働のまちづくりの推進を図るうえで欠かせないものです。両事業とも引き続き現在の事業内容で取り組んでいきます。
重点化事務事業の考え方	区の事業の効率化を図る組織体制への転換と、多くの区民が参画し、それぞれの役割を果たすことによる役員の負担軽減が喫緊の課題となっています。現状の各区の組織や事業などを精査し、それぞれの区にとって一番運営しやすい効果のある組織を作ることが大切であり、それを目指す手段として「部制度」の導入がありますが、各区内の実情に照らし合わせ、可能な限り部制度に近づけ、より効果的な組織を導入できるように区への支援を強化していきます。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	今以上に区と協働し諸問題解決に向けて連携していくために、より効率的かつ効果的な組織である部制度を導入できるように、部制度について学習会を開催するなど、区の支援を強化していきます。又、主体的な社会貢献や自己実現の事業団体であるほりがね秋の振興祭り実行委員会へ、引き続き事業補助並びに実行委員会へのアドバイザーという形で支援をしていく必要があります。それには、事業をそれぞれに展開しているのではなく、区と公民館と支所が一体となった取り組みが求められます。1例として自主防災組織への防災教育と実践訓練を3者で連携して行うことも地域づくりの一助になると考えます。

平成30年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
基本施策名	方針4 質の高い行政経営の推進

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 堀金地域課	課長	吉田 美千代
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	少子高齢化とそれに伴う人口減少時代の到来など、社会経済環境は厳しさを増し、市民ニーズや地域の課題は複雑かつ多様化してきています。従来にも増して質の高い行政サービスへの期待も高まっています。堀金支所は平成28年4月には複合施設としてリニューアルオープンし、さらに平成30年10月には以前の公民館を安曇野図書館として開館しました。部署を超え職員が職務的にも連携し、質の高い住民サービスを提供します。また同じコスト意識を普及、共有し施設管理維持費の縮減に向け取り組みます。
基本方針 (目指すべき方向性)	近隣市町村と連携して広域的な地域づくりを進めるとともに、行政経営の効率化に取り組み、市民ニーズを捉えたサービスの実現を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
市職員の通信教育講座受講者割合	%	8.4	10.0			10.6	106	順調	職員課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数	
1	0102113	堀金支所空調機改修事業	地域担当(堀金)			14,310,000				14,310,000	ハード(新規)	新規	平成30	現状のまま事業を実施することが適当	0.17	
合計						14,310,000				14,310,000						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	複合施設の一体的、計画的な維持管理のもと、特に光熱水費については、庁舎内の関係部署と緊密に連携し、こまめな節電、節水を心がけました。また、新電力会社に変えたことで、電気料の単価が引き下げられたこと、また節電に努めたこともあり、電気料は昨年度より23.13%削減できました。
重点化事務事業の考え方	複合施設である支所において各部署と連携し、一体的、計画的な維持管理のもと電気消費の無駄を省くため、始業前・昼休みの消灯、クールビズ、ウォームビズ等の徹底、並びに雨水タンクを活用した植栽への水やり等こまめな節電や節水を心がけ庁舎維持管理費の節減に取り組みます。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	新電力会社への乗り換えで、電気料の単価は下がりましたが、設備の経年劣化による、空調設備の不具合などもあり、不具合のまま使用することで、夏期エアコン使用による電気料については、例年に比べ増えることが懸念されます。夏期のエアコン稼働を注視し、空調設備修繕の実施について検討が必要であると考えます。

平成30年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
基本施策名	方針5 健全財政の堅持

	所属	職名	氏名
作成者	市民生活部 堀金地域課	課長	吉田 美千代
評価者	市民生活部	部長	宮澤 万茂留

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	継続的に良質な市民サービスを提供し、継続可能なまちを実現するためには、安定した財政基盤が確立されていなければなりません。経年による劣化が施設の随所で見受けられ、特に空調設備は特に老朽化が著しく、一部修理を行いました但那修理中に稼働していた正常な空調機が過重負荷により故障してしまい修理が必要な状態です。堀金支所を利用する地域住民に不便をかけさせないよう修理時期について、見極めが必要です。
基本方針 (目指すべき方向性)	累積滞納額の縮減と新たな財源確保を進めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう歳出予算を継続的に見直し、健全財政の堅持に努めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
市税現年収納率	%		99.2	99.2		99.3	100	順調	収納課
実質公債費比率	%		9.6	12.3					財政課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化	
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数		
1	0102110	堀金支所等施設管理運営事業	地域担当（堀金）	22,067,576	20,319,771	24,755,007				67,142,354	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適当	0.76	
合計				22,067,576	20,319,771	24,755,007				67,142,354						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	空調機の修理代はかかりましたが、夏の消費電力が高くなる時期を迎える中で空調機の修理をすることができたため、夏の消費電力を抑えることができました。また、快適な住環境を整え、利用者の健康維持につなげることができました。
重点化事務事業の考え方	公民館施設の運営状況を随時検討し、利用者の利便性に配慮しつつ、公民館施設維持管理費の節減を図っていきます。併せて公民館施設利用促進のために、積極的に施設紹介を行い、利用率の向上を図ります。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	堀金支所は既に築16年となり、随所に老朽化が見られます。支所利用者に不便を感じさせている部分があり、重大な過失事故が起こらないよう、環境を整えることが、急務と思われます。